



Project timeline

プロジェクトスケジュール

Year 1: 2017/10 - 2018/09

Year 2: 2019/10 - 2019/09

Year 3: 2020/10 - 2020/09

Year 4: 2021/10 - 2021/09

Year 5: 2022/10 - 2022/09

Principle 1: Sustainability of the stock

原則 1: 資源の持続可能性

課題/指標	Year 1 業績目標	Year 2 業績目標	Year 3 業績目標	Year 4 業績目標	Year 5 結果
漁獲方策の目標基準値（TRP）および効果的な漁獲規制のルールやツール（HCRs）が不足している。 Pls 1.2.1, 1.2.2	WCPFCの漁獲管理規則（HCR）/管理方策評価（MSE）のプロセスの検証が実施されている。日本の行政からこのプロセスに対するサポートを確保する。	国際科学委員会（ISC）の管理方策評価（MSE）を実施完了する。 保全管理方策（CMM）2005-03の必要な変更に関する予防的提言を行う。	WCPFCにおいて北太平洋ビンナガマグロに対し、管理方策評価（MSE）に基づく目標基準値（TRP）および他の漁獲方策が2022年までに適宜設定されている。	完了	完了
	Year 1 活動計画	Year 2 活動計画	Year 3 活動計画	Year 4 活動計画	
	開始月: 2017年10月 終了月: 2018年9月	開始月: 2018年10月 終了月: 2019年9月	開始月: 2019年10月 終了月: 2020年9月		



	<p>管理方策評価（MSE）のプロセスの現状を北米および日本からの実際の詳細情報も踏まえてその適切性を検証する。（O2はこの点に関して多くのサポートが可能。）</p> <p>MSEのプロセスが順調に進んでいても漁業データの不確実性の改善に関してクライアント漁業が貢献できることがあるが、これは検討後に初めて分かることである。</p>	<p>MSEプロセスに対する行政のサポートを確保し、必要に応じてMSEプロセスのために漁獲情報に関するサポートを行う。</p>	<p>MSEプロセスに対する行政のサポートを確保し、必要に応じてMSEプロセスのために漁獲情報に関するサポートを行う。</p>		
担当事者および役割	<p>主導者： オーシャンアウトカムズ</p> <p>サポート： 対象漁業、FRA、JFA、関係漁協および企業</p> <p>MSEプロセスにおいてNOAAおよびカナダからのサポートあり。</p>	<p>主導者： オーシャンアウトカムズ</p> <p>サポート： 対象漁業、FRA、JFA、関係漁協および企業</p> <p>MSEプロセスにおいてNOAAおよびカナダからのサポートあり。</p>	<p>主導者： オーシャンアウトカムズ</p> <p>サポート： 対象漁業、FRA、JFA、関係漁協および企業</p> <p>MSEプロセスにおいてNOAAおよびカナダからのサポートあり。</p>		

Principle 2: Ecosystem impacts

原則 2: 生態系への影響



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

課題/指標	Year 1 業績目標	Year 2 業績目標	Year 3 業績目標	Year 4 業績目標	Year 5 結果
サメのフィニングの実施に関する不確実性 PI 2.1.2 or 2.2.2	サメが対象魚種か判断する。対象魚種でない場合、2.1.2 or 2.2.2に則り必要に応じて漁獲したサメに対するフィニングを評価する。	対象漁業におけるサメのフィニングのリスクを評価する。	必要に応じてサメのフィニングのリスクを低減する。	フィニングが行われていないことを示す証拠。	フィニングが行われていない可能性が高い。
	Year 1 活動計画	Year 2 活動計画	Year 3 活動計画	Year 4 活動計画	
	開始月: 2017年10月 終了月: 2018年9月 サメが対象種か確認する。 サメの捕獲および漁船上での扱いに関するモニタリング手法を開発する。	開始月: 2018年10月 終了月: 2019年9月 漁業においてサメのフィニング活動があれば評価し説明する。 フィニングが行われている場合は、取りやめる計画を立てる。 サメの漁獲および取扱いに関してモニタリングを行う。	開始月: 2019年10月 終了月: 2020年9月 必要であれば、サメのフィニングを取りやめる計画を実施する。 サメの漁獲量および取扱いに関してモニタリングを続ける。	開始月: 2020年10月 終了月: 2021年9月 サメの漁獲量および取扱いに関してモニタリングを続ける。	
担当当事者および役割	主導: 対象漁業 サポート: O2、FRA、JFA	主導: O2 サポート: O2	主導: 対象漁業 サポート: O2	主導: 対象漁業 サポート: O2	主導: 対象漁業 サポート: O2

課題/指標	Year 1 業績目標	Year 2 業績目標	Year 3 業績目標	Year 4 業績目標	Year 5 結果
-------	----------------	----------------	----------------	----------------	--------------



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

漁業が枯渇した主要対象種の回復を妨げないような対策が必要	対象漁業において枯渇した主要対象種を特定する。(おそらくメバチおよびクロマグロ)	枯渇した主要対象種の漁獲死亡係数を低減する方策を策定する。	枯渇した主要対象種の漁獲死亡係数を低減する方策を実施する。	方策が効果的に実施されている。	対象漁業が枯渇した主要対象種の回復を妨げていない。
Pls 2.1.1, 2.1.2	Year 1 活動計画	Year 2 活動計画	Year 3 活動計画	Year 4 活動計画	
	開始月: 2017年10月 終了月: 2018年9月 漁獲量の5%を超える主要漁獲物になっている主要対象種を確認する。 使用する餌の種類と系群、そして使用料を確認する	開始月: 2018年10月 終了月: 2019年9月 必要に応じて枯渇した主要種の漁獲量を減らす方策を作成する。	開始月: 2019年10月 終了月: 2020年9月 枯渇した主要対象種に対する管理方策を作成する。	開始月: 2020年10月 終了月: 2021年9月 枯渇した主要対象種に対するFIP漁業の漁獲死亡係数を評価し、方策が効果的か検証する。 枯渇した主要対象種に対する漁獲死亡係数を減らす他の可能な方策を検討する。	
担当事者および役割	主導: O2 サポート: 対象漁業	主導: O2 サポート: 対象漁業、FRA、JFA	主導: 対象漁業 サポート: O2	主導: O2 サポート: 対象漁業、FRA、JFA	

Issue/ 課題/指標	Year 1 業績目標	Year 2 業績目標	Year 3 業績目標	Year 4 業績目標	Year 5 結果
ETP種への漁業の影響を理	漁業のETP種への影響に関する情報を収集す	漁業のETP種への影響を評価し、必要に応じ	漁業のETP種への影響を最小化する方策を必	方策が効果的に実施されている。	漁業のETP種への影響に対する理解を深め、



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

解し管理する必要がある。	る。	てその影響を最小化する方策を立てる。	要に応じて策定する。		いかなる悪影響も最小化する。
Pls 2.3.1, 2.3.2, 2.3.3	Year 1 活動計画	Year 2 活動計画	Year 3 活動計画	Year 4 活動計画	
	開始月: 2017年10月 終了月: 2018年9月 漁獲地域で遭遇する可能性のあるETP種を特定し、ETP種に関連する法律を確認する。 ETP種に対する潜在的な悪影響のモニタリングを実施する為の計画を作成する。	開始月: 2018年10月 終了月: 2019年9月 漁業のETP種への影響を推定するために航海日誌のデータを評価する。 必要に応じて、ETP種に対する遭遇時の管理を実施する為の計画を作成する。	開始月: 2019年10月 終了月: 2020年9月 ETP種との遭遇を航海日誌に記録し続ける。 ETP種との遭遇を管理するために必要に応じて方策を実施する。	開始月: 2020年10月 終了月: 2021年9月 ETP種の漁獲死亡係数のレベルを評価し、方策が効果的に実施されているか確認する。 ETP種の漁獲死亡係数を減少させるため他の可能な対策があるか検討する。	
担当当事者および役割	主導: O2 サポート: 対象漁業、関係研究機関および管理組織	主導: O2 サポート: 対象漁業、関係研究機関および管理組織	主導: 漁業 サポート: O2	主導: O2 サポート: 対象漁業、関係研究機関および管理組織	

Issue/ Indicators 課題/指標	Year 1 Performance Goal 業績目標	Year 2 Performance Goal 業績目標	Year 3 Performance Goal 業績目標	Year 4 Performance Goal 業績目標	Year 5 Outcome 結果
紛失した漁具の生息地に対する影響に関する情報が必	紛失した漁具が生息地に与える影響に関する情報を集める。	必要に応じて対象漁業の生息地に対する影響を最小化するための効果的な方策を策定す	必要に応じて方策を実施し、関連情報収集を通じてこの方策が効果的に実施されているこ	影響評価およびその結果を利用できるようにする。	生息地への漁業の影響を遺体する理解を深め、悪影響を最小化する。



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

要 Pls 2.4.1, 2.4.3	利用可能な情報の質を確認する。	る。	とを実証する。		
	Year 1 活動計画	Year 2 活動計画	Year 3 活動計画	Year 4 活動計画	
	開始月: 2017年10月 終了月: 2018年9月 漁具紛失情報を集め、紛失を最小化する対策を実施する。 漁業が行われる生息地および紛失漁具によるこれらの生息地への影響に関する調査を行う。	開始月: 2018年10月 終了月: 2019年9月 漁業による生息地への影響の可能性が高い場合は、生息地への影響を最小化する対策を策定し説明する。	開始月: 2019年10月 終了月: 2020年9月 必要に応じて生息地への影響を最小化する方策を実施する。 方策が効果的に実施されているか確認するためにモニタリングを実施する。	開始月: 2020年10月 終了月: 2021年9月 漁獲地域にある主要生息地およびこれらの生息地に対する漁業の影響に関する報告を発表する。	
担当当事者および役割	主導: O2 サポート: 対象漁業、関係研究機関および管理組織	主導: O2 サポート: 対象漁業、関係研究機関および管理組織	主導: 対象漁業 サポート: O2、関係研究機関および管理組織	主導: O2 サポート: 対象漁業、関係研究機関および管理組織	

Principle 3: Management system

原則 3: 管理システム

課題/指標	Year 1 業績目標	Year 2 業績目標	Year 3 業績目標	Year 4 業績目標	Year 5 結果
持続可能性の実現に向けて対象漁業独自	WCPFCおよびMSCの原則1と2に沿う対象漁業独自の目標を策定する。	管理計画の中で漁業独自の目標を明確にする。	目標を定期的に見直す。	必要に応じて目標を変更する。	漁業管理の目標がWCPFCおよびMSCの原則1と2に沿う形に



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

の管理制度の方向性を定める必要がある。	る。				なっている。
	Year 1 活動計画	Year 2 活動計画	Year 3 活動計画	Year 4 活動計画	
PI 3.2.1	開始月: 2017年10月 終了月: 2018年9月 MSCの原則1と2の達成にもつながるはえ縄ビンチョウマグロ漁の具体的な漁獲目標を規制当局と議論する。	開始月: 2018年10月 終了月: 2019年9月 新たな目標を漁業管理計画文書に落とし込む。	開始月: 2019年10月 終了月: 2020年9月 漁業管理計画に対して定期的な検討プロセスを策定する。	開始月: 2020年10月 終了月: 2021年9月 目標に対する管理業務を評価し必要に応じて変更する。	
担当当事者および役割	主導: O2 サポート: 対象漁業、FRA、JFA、関係漁協および企業	主導: 関係管理機関 サポート: O2、対象漁業	主導: 関係管理機関 サポート: O2、対象漁業	主導: 関係管理機関 サポート: O2、対象漁業	

課題/指標	Year 1 業績目標	Year 2 業績目標	Year 3 業績目標	Year 4 業績目標	Year 5 結果
予防管理の取り組みが実施されている証拠が必要 PI 3.2.2	関連する調査、モニタリング、評価および協議の中で特定された課題に対して、意思決定のプロセスが透明で適時に順応よく働くことを実証する。	意思決定のプロセスが予防的手法を活用し、利用可能な最良の情報に基づいている事を実証する。	管理制度が法的な問題から生じる司法判断を適時に順守していることを実証する。		予防的な意思決定プロセスが実施されている。
	Year 1	Year 2	Year 3	Year 4	



	活動計画	活動計画	活動計画	活動計画	
	開始月: 2017年10月 終了月: 2018年9月 本漁業に対して、意思決定のプロセスが発生する状況下などでどのように管理に関する決定が出されるか、その際に関係者間の協議はあるか、またその決定が下されるのにどのくらいの時間がかかるかを説明する。	開始月: 2018年10月 終了月: 2019年9月 必要に応じて予防的アプローチを意思決定プロセスに織り込む。	開始月: 2019年10月 終了月: 2020年9月 管理制度が法的な問題から生じる司法判断を順守する一方で、紛争を避けようと務めるものになっているかを示す利用可能な証拠を提供する。		
担当当事者および役割	主導: 関係管理機関 サポート: O2、対象漁業	主導: 関係管理機関 サポート: O2、対象漁業	主導: 関係管理機関 サポート: O2、対象漁業		

トレーサビリティ

Issue/ Indicators	Year 1 業績目標	Year 2 業績目標	Year 3 業績目標	Year 4 業績目標	Year 5 業績目標
トレーサビリティ	現在の流通状況の審査を行い、課題を含む活動計画の作成を行う。	トレーサビリティにおける活動計画の実施とFIP商品とそうでない商品を区別するために必要な書類作成。	トレーサビリティ活動計画の進捗確認と必要に応じて調整。 トレーサビリティの取り組みを拡大していく上で必要と考えられるその他利害関係者の巻き込み	トレーサビリティ活動計画の進捗確認と必要に応じて調整。	FIP商品のトレーサビリティの確立



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

	Year 1 活動計画	Year 2 活動計画	Year 3 活動計画	Year 4 活動計画	
	<p>開始月: 2017年10月 終了月: 2018年9月</p> <p>加工業者を含む流通関係者の流通状況を審査する。</p> <p>改善内容や審査結果の要点をまとめた審査報告書の作成。</p> <p>流通経路における利害関係者や漁業者と協働し、改善内容を反映した活動内容を精査する。</p>	<p>開始月: 2018年10月 終了月: 2019年9月</p> <p>必要に応じて漁獲証明書、水揚時の監視、データの証明などの改善措置を実施する。</p> <p>FIP商品とそうでない商品を区別する上で考えられるリスクをなくす。</p> <p>FIP商品に対する適切なID番号を担保する措置を実施する。</p> <p>主要情報の記録や追跡可能な商品を担保するための改善された管理システムを実施する。</p>	<p>開始月: 2019年10月 終了月: 2020年9月</p> <p>目標に対する活動の進捗確認や必要に応じて定期的に調整する。</p> <p>他流通関係者と活動を拡大する必要性を議論する。</p> <p>必要に応じて精査し、改善活動内容を実施。</p>	<p>開始月: 2020年10月 終了月: 2021年9月</p> <p>目標に対する活動の進捗確認や必要に応じて定期的に調整する。</p>	
Responsible parties and roles	<p>主導: O2</p> <p>サポート: 海王丸、ヤマサ脇口水産、関連管理当局</p>	<p>主導: 海王丸、ヤマサ脇口水産</p> <p>サポート: O2, 関連管理当局</p>	<p>主導: O2</p> <p>サポート: 海王丸、ヤマサ脇口水産</p>	<p>主導: O2</p> <p>サポート: 海王丸、ヤマサ脇口水産</p>	



English Translation

Principle 1: Sustainability of the stock

原則 1: 資源の持続可能性

Issue/ Indicators	Year 1 Performance Goal	Year 2 Performance Goal	Year 3 Performance Goal	Year 4 Performance Goal	Year 5 Outcome
Harvest strategy lacks target reference points (TRP) and effective harvest control rules and tools (HCRs). Pls 1.2.1, 1.2.2	A review of the HCR/MSE process of the WCPFC is carried out. Ensure support from the Japanese government to this process.	ISC MSE work to completed. Precautionary recommendations to the any necessary changes to CMM 2005-03 have been made.	By 2022 a TRP and other elements of harvest strategies, if appropriate based on MSE are in place for North Albacore stocks at the WCPFC	Completed	Completed
	Year 1 Action Plan	Year 2 Action Plan	Year 3 Action Plan	Year 4 Action Plan	
	Start date: Oct 2017 End date: Sep 2018 A review of the current status of the MSE processes with some detailed direct	Start date: Oct 2018 End date: Sep 2019 Ensure governmental support for the MSE processes, and support catch information for	Start date: Oct 2019 End date: Sep 2020 Ensure governmental support for the MSE processes, and support catch information for		



	<p>information from USA/Canada and Japan would work well (O2 could provide a large amount of support for this)</p> <p>Although the processes of MSE are well underway there are some uncertainties with fisheries data that the client could help overcome. This will only become apparent after the review.</p>	MSE processes as necessary.	MSE processes as necessary.		
Responsible parties and roles	<p>Convener: Ocean Outcomes</p> <p>Support: Fishery, FRA, JFA, and relevant fishing cooperatives and companies</p> <p>Support in the MSE process from NOAA and Canada</p>	<p>Convener: Ocean Outcomes</p> <p>Support: Fishery, FRA, JFA, and relevant fishing cooperatives and companies.</p> <p>Support in the MSE process from NOAA and Canada</p>	<p>Convener: Ocean Outcomes</p> <p>Support: Fishery, FRA, JFA, and relevant fishing cooperatives and companies.</p> <p>Support in the MSE process from NOAA and Canada</p>		

Principle 2: Ecosystem impacts

原則 2: 生態系への影響



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

Issue/ Indicators 課題/指標	Year 1 Performance Goal 業績目標	Year 2 Performance Goal 業績目標	Year 3 Performance Goal 業績目標	Year 4 Performance Goal 業績目標	Year 5 Outcome 結果
Uncertainty about whether shark finning occurs PI 2.1.2 or 2.2.2, depending on species	Assess shark finning under 2.1.2 or 2.2.2 as appropriate to the species caught	Risk of shark finning in the fishery assessed.	Risk of shark finning reduced as needed.	Evidence that shark finning is not taking place.	High likelihood that shark finning is not taking place.
	Year 1 Action Plan	Year 2 Action Plan	Year 3 Action Plan	Year 4 Action Plan	
	Start date: Oct 2017 End date: Sep 2018 Check whether sharks are targeted. Develop protocol for monitoring catches of sharks and handling procedures on the fishing vessel.	Start date: Oct 2018 End date: Sep 2019 Assess and describe any shark finning activities in the fishery. If shark finning takes place, develop plan for eliminating this practice. Monitor shark catches and handling.	Start date: Oct 2019 End date: Sep 2020 If needed, implement plan to eliminate shark finning. Continue monitoring shark catches and handling.	Start date: Oct 2020 End date: Sep 2021 Continue monitoring shark catches and handling.	
Responsible parties and roles	Lead: Fishery Support: O2, FRA, JFA	Lead: O2 Support: O2	Lead: Fishery Support: O2	Lead: Fishery Support: O2	Lead: Fishery Support: O2



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

Issue/ Indicators 課題/指標	Year 1 Performance Goal 業績目標	Year 2 Performance Goal 業績目標	Year 3 Performance Goal 業績目標	Year 4 Performance Goal 業績目標	Year 5 Outcome 結果
Measures needed to ensure the fishery does not hinder recovery of depleted main primary species Pls 2.1.1, 2.1.2	Depleted main primary species in the fishery identified (possibly Bigeye tuna, Pacific Bluefin tuna)	Strategy to reduce fishing mortality on depleted main primary species developed.	Strategy to reduce fishing mortality on depleted main primary species implemented	Strategy is effective	Fishery not hindering recovery of depleted main, primary species.
	Year 1 Action Plan	Year 2 Action Plan	Year 3 Action Plan	Year 4 Action Plan	
	Start date: Oct 2017 End date: Sep 2018 Confirm which primary species are main components of the catch (> 5%) and check their stock status. Check on bait species/stocks and quantities that are used.	Start date: Oct 2018 End date: Sep 2019 As needed, develop strategies to reduce harvest of depleted main species.	Start date: Oct 2018 End date: Sep 2019 Implement management strategy for depleted main primary species.	Start date: Oct 2019 End date: Sep 2020 Evaluate level of fishing mortality from FIP fisheries on depleted main primary species, to check whether strategy is effective. Review other potential measures for reducing mortality on depleted main primary species.	
Responsible parties and roles	Lead: O2 Support: Fishery	Lead: O2 Support: Fishery, FRA and JFA	Lead: Fishery Support: O2	Lead: O2 Support: Fishery, FRA and JFA	



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

--	--	--	--	--	--

Issue/ Indicators 課題/指標	Year 1 Performance Goal 業績目標	Year 2 Performance Goal 業績目標	Year 3 Performance Goal 業績目標	Year 4 Performance Goal 業績目標	Year 5 Outcome 結果
Fishery impacts on ETP species need to be understood and managed Pls 2.3.1, 2.3.2, 2.3.3	Information to estimate fishery impacts on ETP species collected.	Fishery impacts on ETP species evaluated and if needed, develop a strategy for minimizing those impacts.	Strategy for minimizing fishery impacts on ETP species implement if needed.	Strategy is effective	Fishery impacts on ETP species better understood. Any negative impacts are minimized.
	Year 1 Action Plan	Year 2 Action Plan	Year 3 Action Plan	Year 4 Action Plan	
	Start date: Oct 2017 End date: Sep 2018 Identify ETP species in fished areas and review relevant ETP species legislation. Develop plan to monitor potential negative impacts on ETP species.	Start date: Oct 2018 End date: Sep 2019 Evaluate logbook data to estimate fishery impacts on ETP species. If needed, develop a strategy to manage fishery encounters with ETP species and reduce ETP species mortality.	Start date: Oct 2019 End date: Sep 2020 Continue to record encounters of ETP species in logbooks. If needed, implement strategy to manage fishery encounters with ETP species.	Start date: Oct 2020 End date: Sep 2021 Evaluate level of fishing mortality on ETP species, to check whether strategy is effective. Review other potential measures for reducing mortality on ETP species.	



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

Responsible parties and roles	Lead: O2 Support: Fishery, relevant research and management organizations	Lead: O2 Support: Fishery, relevant research and management organizations	Lead: Fishery Support: O2	Lead: O2 Support: Fishery, relevant research and management organizations	
-------------------------------	--	--	------------------------------	--	--

Issue/ Indicators	Year 1 Performance Goal	Year 2 Performance Goal	Year 3 Performance Goal	Year 4 Performance Goal	Year 5 Outcome
Information needed about impacts of lost gear on habitat Pls 2.4.1, 2.4.3	Collected information about potential habitat impacts of lost gear. Checked quality of the available information.	If needed, develop an effective strategy to minimize negative habitat impacts from the fishery.	If needed, implement the strategy and show that it is working by collecting relevant information.	Impacts evaluated and results made available.	Fishery impacts on habitats better understood. Any negative impacts are minimized.
	Year 1 Action Plan	Year 2 Action Plan	Year 3 Action Plan	Year 4 Action Plan	
	Start date: Oct 2017 End date: Sep 2018 Collect information on gear loss and actions taken to minimize the gear loss. Conduct research on fished habitats and about potential	Start date: Oct 2018 End date: Sep 2019 If impacts are likely, develop and document measures to minimize the impact on habitat.	Start date: Oct 2019 End date: Sep 2020 If needed, implement a strategy to minimize habitat impacts. Implement monitoring to check whether the strategy is working.	Start date: Oct 2020 End date: Sep 2021 Publish report about the main habitats in fished areas and the fishery's impact on these habitats.	



	impacts on those habitats from lost longline gear.				
Responsible parties and roles	Lead: O2 Support: Fishery, relevant research and management organizations	Lead: O2 Support: Fishery, relevant research and management organizations	Lead: Fishery Support: O2, relevant research and management organizations	Lead: O2 Support: Fishery, relevant research and management organizations	

Principle 3: Management system

原則 3: 管理システム

Issue/ Indicators	Year 1 Performance Goal	Year 2 Performance Goal	Year 3 Performance Goal	Year 4 Performance Goal	Year 5 Outcome
Fishery -specific management system needs to be oriented toward sustainability PI 3.2.1	Develop fishery-specific objectives aligned with WCPFC and MSC principles 1 and 2.	Make the fishery-specific objectives explicit within the management plan.	Review objectives regularly.	Adjust objectives as needed.	Fishery management objectives are aligned with with WCPFC and with MSC principles 1 and 2.
	Year 1 Action Plan	Year 2 Action Plan	Year 3 Action Plan	Year 4 Action Plan	
	Start date: Oct 2017 End date: Sep 2018	Start date: Oct 2018 End date: Sep 2019	Start date: Oct 2019 End date: Sep 2020	Start date: Oct 2020 End date: Sep 2021	



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

	Discuss with authorities specific catch objectives for longline albacore that are consistent with achieving MSC Principle 1 and 2 outcomes.	Incorporate the new objectives into the written fishery management plan.	Develop a regular review process for the fishery management plan.	Evaluate management performance against objectives and develop changes as needed.	
Responsible parties and roles	Lead: O2 Support: JFA, FRA, and relevant fishing cooperatives and companies, fishery	Lead: Relevant management authorities Support: O2, Fishery	Lead: Relevant management authorities Support: O2, Fishery	Lead: Relevant management authorities Support: O2, Fishery	

Issue/ Indicators	Year 1 Performance Goal	Year 2 Performance Goal	Year 3 Performance Goal	Year 4 Performance Goal	Year 5 Outcome
Evidence needed of precautionary approach in management PI 3.2.2	Show that decision-making processes respond to important issues identified in relevant research, monitoring, evaluation, and consultation, in a transparent, timely, and adaptive manner.	Show that decision-making processes use the precautionary approach and are based on best available information.	Show that the management system complies with judicial decisions arising from any legal challenges in a timely manner.		Precautionary decision-making processes are in place.
	Year 1	Year 2	Year 3	Year 4	



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

	Action Plan	Action Plan	Action Plan	Action Plan	
	<p>Start date: Oct 2017 End date: Sep 2018</p> <p>Describe how management decisions are made for this fishery, including circumstances that trigger the decision making process, whether stakeholders are consulted, and how long it takes for decisions to be made. If possible, provide specific examples of past decisions and how they were made.</p>	<p>Start date: Oct 2018 End date: Sep 2019</p> <p>If needed, incorporate the precautionary approach into decision-making processes.</p>	<p>Start date: Oct 2019 End date: Sep 2020</p> <p>Provide available evidence that the management system seeks to avoid disputes while complying with any judicial decisions arising from any legal challenges.</p>		
Responsible parties and roles	<p>Lead: O2</p> <p>Support: Relevant management authorities</p>	<p>Lead: Relevant management authorities</p> <p>Support: O2, Fishery</p>	<p>Lead: Relevant management authorities</p> <p>Support: O2, Fishery</p>		

Traceability

Issue/ Indicators	Year 1 Performance Goal	Year 2 Performance Goal	Year 3 Performance Goal	Year 4 Performance Goal	Year 5 Outcome



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

Traceability	Assess current traceability practices to present findings and refine work plan to integrate key improvement actions.	Implement traceability improvement actions to ensure rigorous documentation/verification and FIP product identification and segregation	Monitor traceability improvement actions and refine as needed. Expand traceability actions to encompass additional supply chain stakeholders, as relevant.	Monitor traceability improvement actions and refine as needed.	Traceability in place to provide assurance of FIP products' FIP origin.
	Year 1 Action Plan	Year 2 Action Plan	Year 3 Action Plan	Year 4 Action Plan	
	Start date: Oct 2017 End date: Sep 2018 Undertake traceability assessment of fishery and key supply chain stakeholders, including processors. Draft a traceability assessment report outlining key findings and making recommendations for traceability improvement actions. Work with fishery and key supply chain stakeholders to refine the work plan to reflect report findings and recommendations.	Start date: Oct 2018 End date: Sep 2019 As needed, implement measures for improved catch documentation, landings' monitoring, and data verification. Implement measures to eliminate the risk of mixing FIP/non-FIP product, ensuring segregation. Implement measures to ensure the proper identification of 'FIP' product. Implement improved management systems to ensure products are	Start date: Oct 2019 End date: Sep 2020 Conduct routine reviews and evaluate performance against objectives. Refine actions as needed. Evaluate the need/relevance to expand the traceability actions to additional supply chain stakeholders. Apply the traceability improvement actions, refining as needed.	Start date: Oct 2020 End date: Sep 2021 Conduct routine reviews and evaluate performance against objectives. Refine actions as needed.	



FIP Workplan for Wakayama tuna longline fishery - October 2017

		traceable/key data elements recorded.			
Responsible parties and roles	Lead: O2 Support: Fishery, key supply chain stakeholders, relevant management authorities	Lead: Fishery and key supply chain stakeholders Support: O2, relevant management authorities	Lead: O2 Support: Fishery, key supply chain stakeholders	Lead: O2 Support: Fishery, key supply chain stakeholders	